

2025年3月31日
商工中金

中小企業設備投資動向調査（2025年1月調査）の公表について

調査要旨

1 設備投資「有」比率…24年度実績見込は前年並み、25年度当初計画は前年比でやや低下

2024年度実績見込の設備投資実施「有」企業割合は全体の61.7%と前年並み。
2025年度当初計画では設備投資「有」が全体の39.4%と前年同期比でみるとやや低下。

2 設備投資の目的…情報化投資、合理化・省力化が増加

設備投資目的の上位2つは「設備の代替」「維持・補修」だが、足元では低下。
「情報化投資」は伸びが顕著。長期で見ると「合理化・省力化」も増加を続けている。

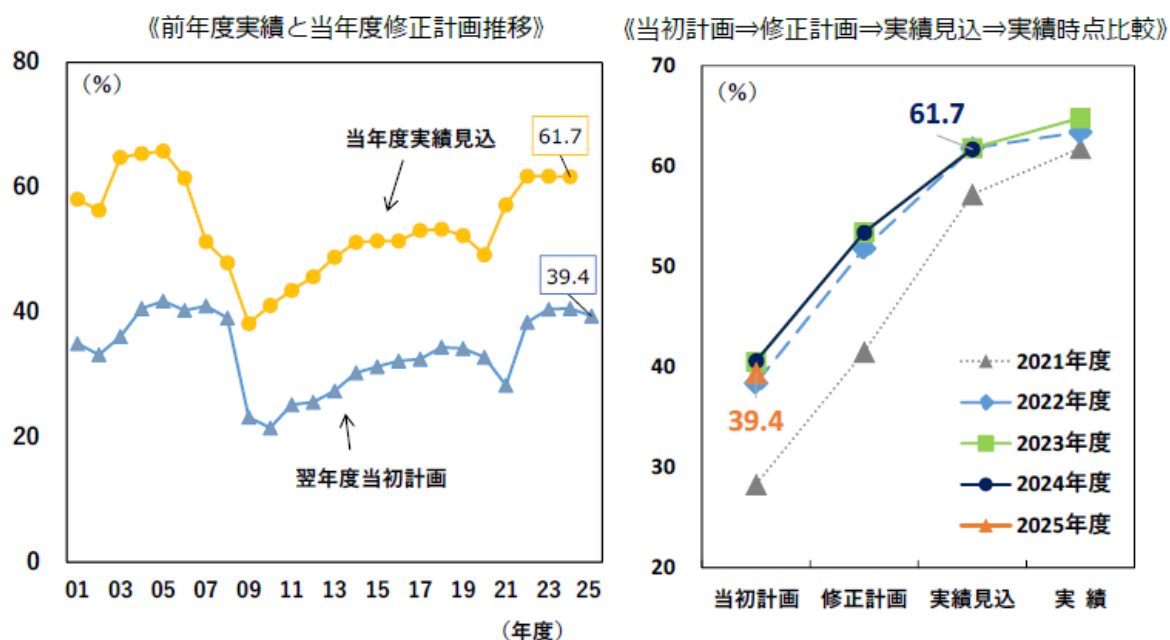
3 設備投資を見送る理由…人手不足・物価高騰関連の理由が増加

設備投資を見送る理由をみると、「必要な人材が確保できない」「資源高による投資コスト上昇」「土地価格の上昇」が増加しており、中小企業をめぐる環境自体の先行き不透明感を反映している。

4 設備投資額の増減率…例年比で伸び率の推移がやや鈍化傾向

設備投資額の増減率をみると、全産業の2024年度実績見込は2023年度実績対比▲2.9%と、やや鈍化傾向。一方、2025年度当初計画は2024年度実績見込比▲26.2%と、例年並み。

<設備投資「有」とした企業の割合推移>



▼詳細は別添をご覧ください。 → [「中小企業設備投資動向調査（2025年1月）」](#)